



がんばらば大会のアーチェリー(身体)競技をご覧になる皇太子さま(11月2日、総合グラウンド陸上競技場)



がんばらば国体のハンドボール競技の会場に到着された三笠宮彬子さま(10月17日、体育文化館)

バレーボール(精神) アーチェリー(身体)



空手道

ハンドボール



ホッケー(成年男女)

アーチェリー



バレーボール(少年女子)

ソフトテニス

軟式野球



### 感動をありがとうございました！

応援席からの大歓声、喜びや悔しさに涙する選手たち…。佐世保会場で開催された「長崎がんばらば国体」(10月12日⑧～22日⑩)と「長崎がんばらば大会」(11月1日⑪～3日⑬)は、どの競技のどの試合も熱気にあふれ、最後まで全力でプレーした選手たちに、観客の皆さんから惜しみない拍手が送られました。多くの人に感動を与えてくれた佐世保会場での熱戦の様子を写真でお知らせします。



がんばらば国体・大会の競技結果はこちらからどうぞ。



市HPに掲載中の国体の写真は、こちらからご覧ください。

自転車[トラック]







# たくさんのご支援をありがとうございました



大会運営を支えていただいたスタッフの皆さん



応援席から大きな声援を送っていただいた皆さん

45年ぶりに本県で開催された第69回国民体育大会「長崎がんばらば国体」(10月12日①から22日②)と、初開催となった第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらば大会」(11月1日③～3日④)。

長崎県チームは、国体では念願の「天皇杯(男女総合優勝)」を獲得し、大会においても、これまでで最多の135個のメダルを獲得するなど、素晴らしい成績を収め、両大会とも盛会のうちに幕を閉じました。

本市では、国体において正式競技8競技と2つのデモンストレーションとしてのスポーツ行事を開催し、大会においては正式競技2競技を開催しました。

期間中は、全国各地から選手や監督をはじめ、多くの大会関係者、観客の皆さんをお迎えし、熱気にあふれた会場では、連日国内トップレベルの熱戦が繰り広げられ、感動あふれる場面が数多く見られました。

両大会では、大会運営を支えていただいた競技補助員や大会運営ボランティアの皆さんをはじめ、準備段階から「応援のぼり旗制作」「花いっぱい運動」「グリーンアップ運動」など大会開催を盛り上げるさまざまな活動を展開していただいた皆さん、さらに協賛という形で市実行委員会の活動を支えていただいた皆さんなど、多くの市民の皆さんによっておもてなし活動が行われ、佐世保らしさを十分に伝えることができました。

長崎がんばらば国体、長崎がんばらば大会の開催に当たり、ご支援とご協力をいただいた全ての皆さんに対し心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

● 国体推進室 ☎76・7103

